

別紙

「説明及び意見を聴く会」の開催結果①

概要

平成27年6月9日(火)18:00~19:30、「説明及び意見を聴く会」を予定どおり浜松市内で開催し(参加者51人(利用者:7人、自治体:6人、業界:35人、マスコミ3人))、以下のとおり、参加された利用者2名からご意見をいただき、このご意見に対し申請事業者から回答がなされました。

利用者の意見①

(利用者の方①)

- ・バス事業の赤字は他事業で補填、またはバス部門自体を分社化する考えが多いが、遠州鉄道はどのように考えているか。
- ・平成25・26年度は赤字だが、これは新車を導入しているからではないか。車両の耐用年数を伸ばしている話もあるが、厳しくなれば路線は縮小して本数が減り、悪循環になるのでは。この先10年後も値上げするのではないか。
- ・運賃表示機の液晶化もあるが、バス停の運賃表示をやめたことがサービス低下ではないか。今までやってきたサービスを再開することが良いのではないか。
- ・初乗運賃値上げは100円から120円になるが、ワンコインであるほうが計算しやすく乗りやすさがある。
- ・最近の新車ではシートが薄くて乗り心地が悪い、こうしたところがサービス低下ではないか。
- ・値上げ以外にも方策はあるのではないか。

申請事業者の回答①

(遠州鉄道株)

- ・不動産・保険等の他事業、観光・高速部門での負担は限界にきている。単体でも赤字を埋める改善は、事業継続のために必要である。また分社化は考えていない。
- ・車両については購入を控えていたが、オムニバスタウン時に入れた初期型の低床車両に故障が多いため平成25・26年度で車両更新をした。事業継続の為に車両更新は必要。
- ・初乗り100円、賃率36円50銭は全国でも低い水準。改定後は全国平均ほどになる。
- ・運賃表示機はオムニバスタウン時に導入したが、現在メーカーが部品を作っておらず、廃車車両から新車に使い回している状況であり限界にきている。
- ・車両内装は標準仕様に変更している。サービス低下にはなるが全国平均的なものである。シートを良くする為に値上げをするのはおかしな話。
- ・ドライバーの待遇、ベースアップも実施できていない。改善しないと雇用確保・運用ができない。インバウンドなど仕事はあるが運転者がいない。運転者が来てくれる雇用環境を整えないと事業が成り立たないこともあり、値上げをすることにご理解を賜りたい。

「説明及び意見を聴く会」の開催結果②

利用者の意見②

(利用者の方②)

- ・運賃改定の試案を作成してみたが、バス停ごとでなく距離ベースで、20円～30円の一律の上げ幅で運行するのはどうか。上限運賃の頭打ち他は他のバス会社より近い距離になっているので、上げて700円程度が妥当ではないか。
- ・相鉄バスなどで導入している「金額式定期券」の導入をするのはどうか。
- ・駅から100円～120円の区間とくる(コミュニティバス)全区間乗り放題の乗車券を作るのはどうか。付随して周囲の商店街との連携などするのとはどうか。
- ・天竜浜名湖鉄道などにナイスパス(ICカード)を導入し、エリアの拡大・割引サービスを図るのはどうか。
- ・オムニタウン時の専用レーンのカラー舗装が老朽化していて効果が薄れている。市と連携し、路線バスが動きやすい道路を作ってほしい。
- ・晴れなら自転車をを使うが、雨ならバスを使う人も多い。駐輪場を整備する他、レンタサイクルの導入を検討してはどうか。
- ・利用者が現在かつての三分の一程度になっている。利用客はいるが、バス路線などを減らしすぎて、一台分の負担が増えている。そのため、輸送力が落ちて利用しなくなっている面もある。バスが来ても満車で乗れないなど積み残しが発生している。

申請事業者の回答②

(遠州鉄道様)

- ・制度そのものの中に20円ずつ切っていくものがないのではないかと。また旅客の実態には合わないと思われる。上限運賃は改定後690円の予定。同程度という考え方だと思う。
- ・昔は「金額式定期」のような考え方がなかった。遠鉄では「読み替えバス停」、同じ運賃で複数系統利用可、などの考え方で対応。JRを挟んだ利用の場合でも乗り継ぎの分安くなる定期券もあるので、対応できている。
- ・くるるは浜松市の勘定となるので、協議が必要。周囲との協調については、お帰り切符の仕組みがある。
- ・天竜浜名湖鉄道に、ナイスパス導入のための機器を購入する力がないのでは。また、インバウンドの方を対象としたセントレアと浜松の空港バスの片道運賃と、遠州バス・遠州鉄道・天竜浜名湖鉄道・浜名湖遊覧船が3日間乗り放題の共通切符の販売を検討しているところ。
- ・バス協会を通じて年に一回、交通診断要望を確認している。今後も継続していく。
- ・駐輪場は市から補助を貰い、整備している。今後も続けていく。
- ・積み残し等、あつてはならないが申し訳ない。近隣の別路線のバス停の案内等利用バス停が集中しないようなことを考えたい。
- ・いただいたご提案を真摯に受け止め、今後の事業展開を模索してまいりたい。

「説明及び意見を聴く会」の開催結果③

自動車局の見解

陳述者のご意見のとおり、バス運賃値上げに際し、申請事業者においては利用促進による増収を図り、バス運賃の値上げは最小限に留めなければならないと考えております。

申請事業者である遠州鉄道(株)においては、陳述者からのご意見にもありましたとおり、今後、運賃改定のみには頼るのではなく、運賃面や設備面のサービス向上など様々な利用促進策などによる需要喚起及びより一層の利便性向上に向け取り組む意向であることを確認いたしました。

今般の運賃改定を契機として、新規顧客の獲得に向けた取組も含め、利用者利便の増進が図られていくことが最も重要であり、自動車局としても乗合バス事業全体の活性化に向けてバス事業者や関係自治体等と連携してまいりたいと思います。

